

# きづがわしの水道

～安心・安全な生活と快適な暮らしを支える水道～



## 令和2年度水道事業会計 決算の概要

タツタタワー木津川市および  
タツタテクニカルセンター

### 収益的収支・税抜

(万円)

項目	令和2年度 決算	令和元年度 決算	比較
収入	給水収益(水道料金)	122,373	117,546
	その他(手数料)	713	832
	受取利息	101	129
	下水道負担金	5,315	5,595
	他会計負担金	1,392	859
	長期前受金等戻入額	51,521	51,498
	雑収益(広告収入等)	554	315
	計	181,969	176,774
支出	人件費	16,941	14,470
	受水費	42,740	41,280
	動力費	10,248	10,821
	薬品費	427	397
	修繕料	6,438	4,466
	材料費	135	113
	委託料	10,299	9,499
	減価償却費	78,490	78,062
	支払利息	2,814	3,024
	貸倒引当金	1,700	2,500
	その他(施設維持費等)	3,621	5,810
	計	173,853	170,442
差引		8,116	6,332
			1,784

### 資本的収支・税込

(万円)

項目	令和2年度 決算	令和元年度 決算	比較
収入	加入金	8,872	11,344
	工事負担金	4,640	5,471
	一般会計出資金	1,967	2,647
	水道事業(開発)分担金	1,661	1,612
	計	17,140	21,074
支出	建設改良費	38,971	42,933
	企業債償還金	9,946	9,742
	財政調整基金積立金	1,661	1,612
	計	50,578	54,287
	差引	△ 33,438	△ 33,213
			△ 225

※資本的収支の差額は、過年度留保資金等で補てんしています。

令和2年度水道事業会計の決算が9月市議会定例会で認定されましたので、その概要をお知らせします。

地方公営企業である水道事業の経理は、収益的収支と資本的収支の2つに区分されます。収益的収支については、水をつくり、ご家庭にお届けするための収支を表したもので、水道料金の収入など年度内に発生するすべての収益や水をつくるのに必要となる費用が含まれ、減価償却費のように現金支出を伴わない費用もあります。また、資本的収支については、水道施設の整備に関する収支を表したもので、施設整備に要する工事費や人件費、企業債の借入・償還などが含まれます。

令和2年決算の特徴としては、給水人口の増加に加え、新型コロナウイルス感染症の拡大による新しい生活様式の広がりなどで、水需要が急増しました。このため、収益的収入では給水収益が前年度に比べ、4,827万円増加し、収益的支出でも受水費が1,460万円増加しています。受水量では京都府営水道と奈良市水道からの合計で32万4,321m<sup>3</sup>増加し、480万7,338m<sup>3</sup>となりました。収入と支出の差引額は8,116万円の黒字となっています。この黒字額も前年度に比べ1,784万円増加しており、大変良好な決算でした。水道をお使いいただいた皆様のご理解とご協力の賜物と心得、厚くお礼申し上げます。

また、資本的収支では、配水管布設替工事（延長1,744.9m）、舗装工事（面積7,246m<sup>2</sup>）、吐師受水場のテレメータ装置取替更新工事および計測設備等取替更新工事、山城浄水場更新のための基本設計などを行いました。

## 業務量

項目	令和2年度	令和元年度	比較
年度末給水人口(人)	79,195	78,344	851
年度末給水戸数(戸)	31,937	31,247	690
年間配水量(m <sup>3</sup> )	8,637,668	8,397,755	239,913
年間有収水量(m <sup>3</sup> )	8,067,738	7,719,554	348,184
有収水量率(%)	93.40	91.92	1.48
給水人口1人当たりの年間有収水量(m <sup>3</sup> /人)	101.87	98.53	3.34
給水原価・税抜(円/m <sup>3</sup> )	151.63	154.08	△ 2.45
供給単価・税抜(円/m <sup>3</sup> )	151.68	152.27	△ 0.59
料金回収率(%)	100.03	98.83	1.20

## 企業債の状況

(万円)

区分	令和2年度末	令和元年度末	増減
企業債残高	170,956	180,902	△ 9,946
うち旧簡水債の交付税分(一般会計出資金)	45,125	46,987	△ 1,862
差引(実質残高)	125,831	133,915	△ 8,084

将来世代への負担を先送りしないために、企業債の実質残高が14億円以下となるよう経営を行っています。

## 財政調整基金の状況

(万円)

令和2年度末	令和元年度末	増減
345,312	343,651	1,661

今後も、将来を見据えた経営基盤の強化に努めます。



水道事業会計の財政調整基金は、開発による水道事業分担金収入の1,661万円全額を積み立て、令和2年度末で34億5,312万円となりました。

## 貸借対照表 資産の部

(万円)

区分	令和2年度	令和元年度	増減
有形固定資産(水道施設等)	2,544,828	2,586,167	△ 41,339
無形固定資産	84	84	0
投資(財政調整基金)	345,312	343,651	1,661
現金預金	286,985	272,957	14,028
未収金	32,347	34,959	△ 2,612
貯蔵品	2,021	2,051	△ 30
資産合計	3,211,577	3,239,869	△ 28,292

## 貸借対照表 負債・資本の部

(万円)

区分	令和2年度	令和元年度	増減
企業債	170,956	180,902	△ 9,946
修繕引当金	27,293	27,293	0
未払・賞与引当・預り金	39,219	32,224	6,995
繰延収益(長期前受金)	1,433,381	1,473,022	△ 39,641
自己資本金	449,717	120,192	329,525
資本剰余金	1,018,993	1,014,776	4,217
利益剰余金	72,018	391,460	△ 319,442
負債資本合計	3,211,577	3,239,869	△ 28,292

次に、業務量から見た経営分析を説明します。

年間有収水量は、前年度に比べ34万8,184m<sup>3</sup>と大きく増加しました。この要因は、給水人口が851人増加したことと7万3,286m<sup>3</sup>の増加に繋がり、新型コロナウイルス感染症の拡大による在宅勤務など新しい生活様式の広がりで家庭での需要が35万5,169m<sup>3</sup>増加する一方、企業などで需要が8万271m<sup>3</sup>減少したと分析しています。このことは、給水人口1人当たりの年間有収水量が前年度に比べ3.34m<sup>3</sup>/人増加したことにも表れています。

また給水単価と供給単価もほぼ釣り合い、安定した経営状況であると考えられます。

企業債は、水道施設を建設するための財務省や地方公共団体金融機構からの借金です。旧簡水債の交付税分を除いた企業債の残高は、令和2年度末で12億5,831万円となります。

## 経営戦略(財政収支計画)との比較

(万円)

区分	項目	R1 決算	R2 決算	R2 計画	比較	R3 計画	R4 計画	R5 計画
収益的 収支 (税抜)	1 水道事業収益	176,774	181,969	169,835	12,134	170,537	170,158	170,671
	1 営業収益	118,378	123,086	115,302	7,784	115,494	115,608	116,093
	1 給水収益	117,546	122,373	114,701	7,672	114,893	115,007	115,492
	2 その他	832	713	601	112	601	601	601
	2 営業外収益	58,396	58,883	54,533	4,350	55,043	54,550	54,578
	1 受取利息	129	101	97	4	92	83	72
	2 財政調整基金繰入金	0	0	0	0	0	0	0
	3 下水道負担金	5,595	5,315	6,220	△ 905	6,206	6,189	6,194
	4 他会計負担金	859	1,392	792	600	681	653	623
	5 長期前受金戻入	51,498	51,521	47,154	4,367	47,794	47,355	47,419
	6 雑収益	315	554	270	284	270	270	270
	1 水道事業費用	170,442	173,853	168,168	5,685	169,332	168,907	169,576
	1 営業費用	167,246	170,993	165,354	5,639	166,733	166,524	167,399
	1 人件費 (報酬賃金含む)	14,470	16,941	16,106	835	16,217	16,329	16,442
	2 受水費	41,280	42,740	41,555	1,185	41,611	41,663	41,830
	3 動力費	10,821	10,248	10,932	△ 684	10,918	10,892	10,903
	4 薬品費	397	427	406	21	403	401	399
	5 修繕費	4,466	6,438	4,309	2,129	4,309	4,309	4,109
	6 材料費	113	135	141	△ 6	141	141	141
	7 委託料	9,499	10,299	9,112	1,187	9,112	9,112	9,112
	8 減価償却費	78,062	78,490	79,148	△ 658	80,380	80,039	80,825
	9 その他	8,138	5,275	3,645	1,630	3,642	3,638	3,638
	2 営業外費用	3,196	2,860	2,814	46	2,599	2,383	2,177
	1 支払利息	3,024	2,814	2,814	0	2,599	2,383	2,177
	2 雑支出	172	46	0	46	0	0	0
	当年度純利益 (純損失)	6,332	8,116	1,667	6,449	1,205	1,251	1,095
資本的 収支 (税込)	1 資本的収入	19,462	15,479	20,781	△ 5,302	23,289	49,258	39,778
	1 加入金	11,344	8,872	7,314	1,558	7,315	6,309	6,309
	2 工事負担金	5,471	4,640	4,006	634	4,006	2,994	641
	3 補助金	0	0	0	0	0	1,000	1,000
	4 企業債	0	0	0	0	0	21,980	21,300
	5 基金繰入金	0	0	7,560	△ 7,560	10,040	15,020	7,950
	6 出資金	2,647	1,967	1,901	66	1,928	1,955	2,578
	1 資本的支出	52,675	48,917	76,597	△ 27,680	76,114	107,300	106,625
	1 建設改良費	42,933	38,971	66,651	△ 27,680	66,074	97,192	97,356
	2 企業債償還金	9,742	9,946	9,946	0	10,040	10,108	9,269
	資本的収支差引	△ 33,213	△ 33,438	△ 55,816	22,378	△ 52,825	△ 58,042	△ 66,847

※水道事業（開発）分担金及び財政調整基金積立金を除く。

令和2年度決算と平成31年3月に策定した木津川市新水道ビジョンの経営戦略（財政収支計画）との比較では、収益的収支の当年度純利益は計画より6,449万円増加しました。

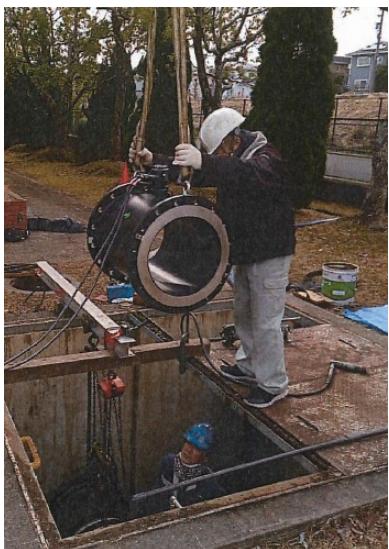
**水道水で手洗い、マスク、換気、3密を避けるなど、感染症対策を万全に！**

水道水で、こまめに手洗いを！



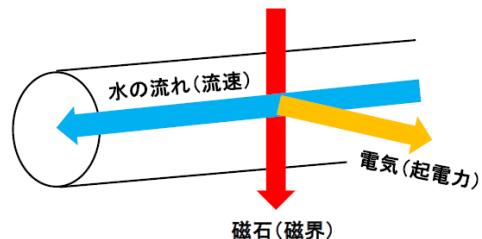
新型コロナに関する情報は、木津川市HPで確認してください。  
[ホーム > 葸らす > 上下水道 > 水道からのお知らせ > \[新型コロナウィルス対策など\]](#)

## 令和2年度に実施した吐師受水場計測設備等取替更新工事



吐師受水場の地下にある大型の電磁流量計のほか、各種の計器類を更新しました。

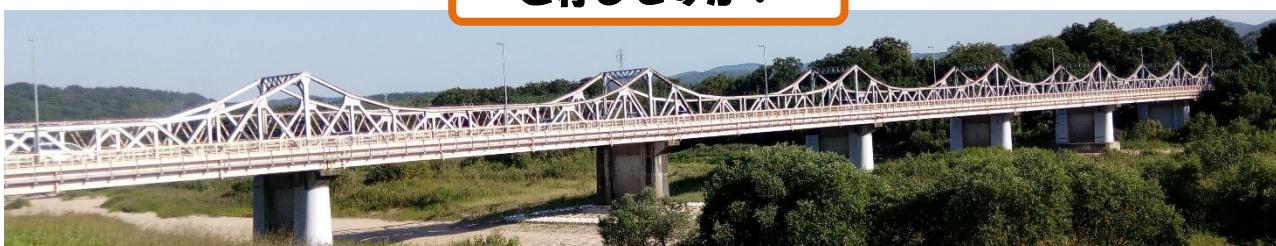
電磁流量計の仕組みは、ファラデーの電磁誘導（フレミングの右手の法則）を応用したもので、右の図のように、水の流れに磁石を近づけたときに電気が発生することで、流量を測定しています。



## 水道料金及び公共下水道使用料審議会 答申の骨子

木津川市水道料金及び公共下水道使用料審議会では、令和3年7月2日に第7回審議会を開催し、令和3年7月26日に新川会長から河井市長に答申しました。水道料金については、現行の水道料金体系を維持しつつ、さらなる経費の節減に努めることを答申の骨子としています。詳細は市ホームページで確認してください。[ホーム > 暮らす > 上下水道 > 水道からのお知らせ > 木津川市水道料金及び公共下水道使用料審議会（令和元年～令和3年）](#)

### ご存じですか？



木津川に架かる泉大橋は、昭和26年に完成したカンチレバー式トラス橋で日本百名橋に選ばれています。優美な外観と対象的に、間近で目になると、太い鉄骨と随所に打ち込まれたリベットの力強さが印象に残ります。約70年間も私たちの生活を支えている重要なインフラです。

高度成長期に鉄鋼は産業の米と呼ばれ、日本経済を牽引しました。主役の座が半導体に移った現在でも、強さ・しなやかさ・錆びにくさ・溶接のしやすさなどを追及した高品質な鉄鋼の開発が進み、水道でもダクトタイル鉄、ステンレス鉄、ステンレス鋼、珪素鋼、機械構造用炭素鋼などを用途に合わせて使用し、安全な水をお届けしています。

